

●3月18日（土）

≪本日のプログラム≫

- ・ BOSTON Learn & Lead Experience（学生リーダーとのボストン市内自主研修）

\*\*\*\*\*

我々および先生方が滞在するボストン南部エリアでは薄暗く重い雲とともに小雨がちらつく朝でしたが、時間とともに雨はあがり、生徒が集合するころにはすっかり回復していました。2組が朝のセッション（本日のプログラム打合せ）開始に若干遅れたものの、事前の電話連絡はしっかりしてくれておりほどなく合流、皆元気に活動を開始しました。元気に・・・とは言いましたが、個々には未だ続く時差ボケと戦う生徒も少なくなく、毎日密度濃い研修が続く一方で疲労が蓄積する頃でもありますので、個々の研修目的達成に向けて惜しみなく頑張りながらも無理せず元気に研修を終えることができるよう、見守っていきます。

さて、本日は日々献身的にサポートしてくれている学生リーダー同行のもと、自分たちで立てた訪問・移動計画を遂行する「Learn & Lead Experience（ボストン市内自主研修）」が実施されました。各自が調べた行きたい場所に加え、ホストファミリーや留学生（ファミリー宅滞在）から聞いたおすすめの場所を持ち寄り、グループ間での協議を経て最終プランを作成。リーダーの確認と了承をもらった順に、ボストンの街へ繰り出していきました。

生徒たちが楽しみにしていた本プログラム、その思いにこたえてくれるかのようにさらに天気は回復、3月のボストンとは思えないくらいの気温（15度超）とともに、美しい青空がさらに生徒たちの主体的活動を後押ししてくれました。

およそ6時間後、ボストンの街をまさに自分たちの足で「闊歩」した生徒たち、いままでにないくらいの素晴らしい表情で帰ってきてくれたこと（遅刻もなし!）は言うまでもありません。現地での生活はわずか3日ではありますが、緊張感と当事者意識をもって日々活動、通学するなかでついた自信も本プログラムでさらに活かされたものと思います。そして、何より学生リーダーとの絆もさらに深まったので、帰着後も訪問場所や出来事を振り返りながら話続けている姿は我々もとても嬉しく感じながら眺めていました。尚、この微笑ましい光景の一つの理由として、残念ながら彼らとの活動が本日で最後、ということもありました。本日の活動終了を告げるグループ写真を撮ったあとも生徒たちとリーダーとの話は終わらず、感謝のことばを伝える光景はもちろんあちこちに、そして双方涙で別れを惜しむ場面も。「献身的」ということばが本当にふさわしく、時には国籍をこえた兄弟姉妹のように気遣い、見守り、アドバイスをくれた学生リーダーたち。彼らの存在が本プログラムに間違いなく欠かせないものでした。我々からも強く強く感謝を伝えたいと思います。同時に、生徒たちには彼らが単にプログラムリード役に留まらず、役割を超えるぐらいに親身になり関わってくれたその思いや理由も考えてもらえたらと思います。本合同研修の目的が英語学習への意欲獲得に留まらず、個々に様々な気づきや影響を得られるチャンスがあるなかで、学生リーダーの振る舞いから生徒が感じる「何か」は間違いなく大きなものであると強く感じます。

以上、現地4日目の報告とさせていただきます。

\*\*\*\*\*







